

2019年9月12日

2019年8月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参関連の仕事も一段落してその他物件も仕事量の減少が見られ、先月に引き続き低調に推移し前年を下回った。

（前年比 87.7%）

巻取は金融、約款関連に動きが見られたものの、全体を押し上げるに至らず前年を下回った。

（前年比 94.5%）

再生紙平判は官公庁大口物件の動きが見られ、また企業関連の封筒、名刺等の特需も加わり前年を大幅に上回った。巻取は入札物件受注の減少に歯止めがかからず、また使用を敬遠する状況が続き一般紙、森林認証に切り替える動きが見られ前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 114.3% 再生上質巻取 64.0% 再生上質計 94.0%）

（前年比 印刷用紙A 89.2%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、官公庁関連、一部カレンダー等で動きがあったものの、全体の印刷案件数、用紙使用数量ともに少なくグロス数、マット紙とも前年を大幅に下回った。

巻取は自動車、不動産等で動きがあったものの、全体的に仕事量が少なく消費増税関連でも目立った動きがなくグロス紙、マット紙とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 84.7% 巻取 82.0% 全体 84.2%）

<A3 コート>

学習塾、量販店、一部消費税関連で食品、スーパー等のチラシで動きがあったものの、用紙供給不足による紙離れの影響によるリピート案件の消滅もあり平判、巻取ともに前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 90.7% 巻取 59.5% 全体 70.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は生損保、官庁関連の動きはあったが、全体的に動きが弱く前年を下回った。

巻取は歳末商戦の動きがあり前年を上回った。

（前年比 平判 95.1% 巻取 102.7%）

<上質フォーム>

官庁、生損保関連ともに全体的に動きが弱く前年の災害での月ずれの影響もあり前年を大きく下回った。

（前年比 83.9%）

<包装用紙>

特殊両更は事務用封筒用途、ブックカバーの動きはあったものの全体的には低調で前年を下回った。

(前年比 81.8%)

片艶晒は医療保険会社向け封筒用途、製菓店向け包装紙の動きがあったものの全体的には低調で前年を下回った。

(前年比 84.7%)

両更晒はファクタリング系金融会社向け封筒用途、保険会社向け封筒及び手提げ袋用途での動きがあり前年を上回った。

(前年比 110.7%)

純白ロールは生花店向け包装紙用途での動きはあったものの、省包装化、軟包装化の影響もあり前年を下回った。

(前年比 90.2%)

軽包装は雑貨の小袋及び製本会社向け雑包装用途での動きが好調で前年を上回った。

(前年比 103.4%)

包装紙合計で 94.0%と前年を下回った。

<板紙>

お盆明けは比較的医薬、化粧品は堅調に動きがあったが、菓子、食品、アイスや行楽地の土産品等は低調であった。POP などの特板関係のスポットも減少傾向で全体的には昨年を下回った。

(前年比 95.2%)